# 第5学年外国語活動指導案

2015.1.28 (水) 5 年 4 組 37 名 指導者 HRT 甲斐 義一 JTE 安藤 恵子

- 1、単元名 Hi friends 1 Lesson9 What would you like? ランチメニューを作ろう
- 2、単元目標・欲しいものについて丁寧に積極的に尋ねたり答えたりしようとする。
  - ・欲しいものについての丁寧な表現の仕方や尋ね方に慣れ親しむ。
  - ・世界の料理に興味を持ち、欲しいものを尋ねたり言ったりする際、丁寧な表現があることに気付く。
  - ・家庭科学習を生かし、栄養素の働きを考えたメニューを作ろうとする。
- 3、指導の立場
  - (1) 教材について

本単元では、世界には様々な食べ物や料理があることを知り、それらの食べ物や料理名の欲しいものを尋ねる丁寧な英語表現に慣れさせることと、積極的に友だちのランチメニューについて聞こうとしたり、自分たちが考えたランチメニューを紹介したりすることがねらいである。まず児童は給食や食事の映像から、日本と外国の食生活の違いに容易に気付き興味をもつであろう。

児童は、5年生の2学期末に家庭科で食品の栄養について学習しており、食べ物は、体内の主な働きにより、3つのグループに分けられることを知っている。しかし、調査によると、きゅうりやじゃがいもに比べ、ヨーグルト、豆腐などの加工品は、その食品が何から作られているか分からない児童が多いと推察されている。高学年のこうした実態から、簡単な英語を使いクイズ形式で3つのグループを認識させることで、より学習効果が期待できると思われる。

活動は、食品のやり取りをこれまでに使った Please に加えて、What would you like? I'd like~. Here you are. Thank you. You are welcome.等の丁寧な表現を使いながら、「お店に買い物に行く」という、身近な場面設定の中で行わせる。お店とお客の両方の立場で、相手の思いを理解しようとしたり、自分の思いを伝えようとしたりする中で、相手との関係を円滑にするためのコミュニケーションの心地よさ、大切さを味わわせたい。

イギリスから来た ALT のダン先生の簡単な朝食を導入で見せ、既習事項の栄養バランスを考えたメニューを ALT のために作ろうという意識を最後まで持続させたい。

本単元での主な語彙

表現 What would you like? I'd like~

Hello. Here you are. Thank you. See you.

語彙 hamburger omelet hamburger stake spaghetti hotdog pizza sushi sausages Fried chicken curry and rice French fries natto green tea miso soup rice Bread cake sandwiches milk salad pudding fruits ice cream yogurt orange juice parfait

#### (2) 児童について

本学級の児童は、全体的に明るく素直で、何事にも積極的に取り組む意欲を持っている。外国語活動にも同様で、これまで、英語を使ったゲームやクイズを楽しみながら学習を進めてきた。外国語活動に対する抵抗はなく、教師の範読を大きな声で復唱しながら単語を覚えたり、友達とクイズを出し合い、コミュニケーションをとりながら話型を覚えたりし、英語による表現を学んできた。ALT との関わりの中で授業を進めてきたおかげか、表現するだけでなく聞き取る力も付いており、知らない単語や表現が出てきても、知っている単語や表現、ジェスチャー、前後の文脈等から意味を推測し理解することもできてきた。児童間の関係も良好で、ペアやグループの中で役割分担をしながら会話を楽しみ、外国語活動の中で互いの理解を深め会うことができている。

しかしながら、大人数の中で英語を使い、楽しむことはできるものの、英語を使っての発表など、注目される場面ではいつものような大きな声が出なくなってしまう。また、ゲームを楽しむあまり外国語の使い方が曖昧になったり、恥ずかしさからか日本語を使ってしまったりすることもある。

よって今後の外国語活動では、英語を使ったゲームを楽しむだけでなく、英語を使って表現すること自体の喜びや楽しさを味わわせ、自ら英語を用いようとする姿勢を育てていきたい。

#### (3) 指導について

第1時では、前日の給食のメニューや材料を思い起こしながら、給食の栄養バランスの良さに注目させる。そして、他国の給食メニューや給食の様子を見せて、日本との学校生活や食生活の違いを気付かせたい。第2時は、アンバランスな食生活をしてるという設定のALTに、もっとバランスのいいメニューを考えてほしいと児童に頼んでもらう。ALTの嗜好や体調を聞いてから、みんなで1週間のメニューを考えることになる。班で3つの食品を組み合わせさせるが、そこで、家庭科で学習した3つの栄養素の働きグループを考えないといけなくなる。最初は、カード3枚を使い(例 ごはん、みそ汁、ハンバーグ)のように、1つのセットメニューを作らせることで、大体のバランスに気付かせる。次は、1つのメニュー(dish)と材料(food)が結びつくようにさせる。最終的には第4時で、自分たちがALTのために考えたメニューを作るために、3つの栄養素の働きに合わせたお店に買い物に行き、材料をそろえる。材料がそろったら、「チェンジ レストラン」に行くと材料が合っていれば、その食品を作ってくれるという設定にする。よって、児童はその食品が何でできているのかどんな栄養の働きがあるのかを考えざるを得なくなる。視覚的に栄養バランスをとらえさせるために、dish card には、上に食品。下に黄 energy 赤 body 緑 condition の枠を作り、単元を通して使用したい。

児童は、複数人で1つの食品を完成させることを基本とし、半数ずつに分け、お店とお客両方の体験をさせたい。

もちろんお店でのすべての会話は、"What would you like?""I'd like~."を基本使わせる。

当日は、公開授業のため参観者がいる。児童が、自分の買いたい材料がどのお店に行けばいいかわからない時は、参観者にヒントをもらってもいいことにする。参観者にも買い物に来てもらうなどして、コミュニケーションを図る姿を期待したい。

おすすめメニューが出来上がったら、班ごとにメニューと工夫点を堂々と発表させたい。

日ごろの指導に当たっては、児童が英語表現に慣れ、コミュニケーションを図る楽しさを体験させるため次のような点に配慮している。

- ・常にコミュニケーションを意識させるために、スマイル、クリアーボイス、アイコンタクト、レスポンスを常に4つの目当てとして掲げ、振り返りをさせている。
- ・"What would you like?" の表現は、児童にとってやや難しいと思うので、電子黒板の Chant を毎回工夫して行い、リズムで慣れさせていきたい。なお、チャンツ CD や単語が入った i-pad は、各クラスに配布して、1日に数回実施することで、慣れさせていった。

#### 4、評価基準

- 1			
	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気づき
	・お店やレストランで、欲しいものを丁寧に尋ねたり答え たりしてコミュニケーション を楽しんでいる。	・欲しいものについて丁寧な表現の仕方や尋ね方に慣れ親しむ。	・世界の料理に興味を持ち、欲しいものを尋ねたり言ったりする際、丁寧な表現があることに気付く。 ・家庭科学習を生かし、栄養素の働きを考えたメニューを作ろうとする。

## 5、単元計画

	めあて	学習内容	評価基準
第1時	・世界の給食や丁寧	<ul><li>・日本の給食の栄養</li></ul>	・世界の料理(給食)の特徴
	な言い方を知ろう	・世界の給食クイズと映像	や日本との違いに気付く。
		・dish の名前	・英語にも丁寧な言い方が
		・チャンツ(丁寧な言い方)	あることに気付く。(気づ
		<ul><li>振り返り</li></ul>	き)
第2時	・丁寧な聞き方答え	・単語、文復習	
ALT	方を使ってメニュ	<ul><li>ダンの食事の栄養バランスは?</li></ul>	
	ーを作ろう	<ul><li>3枚のバランスカードゲーム</li></ul>	・欲しいものについて丁寧
		<ul><li>おすすめメニューに名前を付ける</li></ul>	な表現の仕方や尋ね方に 慣れ親しむ。
		・ダン先生にインタビュー	関れ続しむ。   (慣れ親しみ)
		・班でランチメニューを考える	
		・振り返り	
第3時	<ul><li>材料を考えながら</li></ul>	・単語、文復習	
	丁寧に聞いたり答	・dish に必要な foods を考える	・欲しいものについて丁寧
	えたりして、メニュ	・ペアで foods を集めて、dish を作	な表現の仕方や尋ね方に 慣れ親しむ。
	ーをつくることに	るゲーム	(慣れ親しみ)
	慣れる。	・おすすめメニューの材料を考える	<ul><li>・食品と材料について考え</li></ul>
		・振り返り	ようとしている。
			ょっこしている。 (気づき)
第4時	おすすめランチメ	・単語・文復習(チャンツ)	() (( )
(本時)	ニューをつくろう	<ul><li>おすすめメニューの確認</li></ul>	
		・食品の買い物(前後半)	・お店やレストランで、欲
		(児童はお店とお客になって、	しいものを丁寧に尋ねた
		店で、必要な食品を買う。)	り答えたりしてコミュニ
		*材料がそろったら、チェンジレス	ケーションを楽しんでい
		トランで食品にかえてもらう	る。
		・おすすめメニュー(4つ)完成	(コミュニケーション)
		・メニュー紹介	
		<ul><li>振り返り</li></ul>	
(第 5	ダンにメニューを	作ったメニューと理由をダンに紹	・相手意識を持って、自分
時)	紹介しよう	介する	達の作ったメニューを、積
			極的に紹介しようとする。
		*ipad の映像で	(コミュニケーション)

### 6、本時案

- (1) 題材 ダンにすすめるランチメニューを作ろう (L9 第④時)
- (2) ねらい 3つの栄養グループを意識して、メニューを完成させるために、お店やレストランで、 欲しいものを丁寧に聞いたり答えたりしてコミュニケーションを楽しもうとする。

(3) 展開	<del>,</del>			
Procedure				
(time)	Student	JTE	HRT	評価/準備物
1. Warm-up • Greetings (5)  2, Presentation (5)	・デモを見ながら、気 分の言い方を思い出 す。 ・気分や天気、曜日、 を答える。 ・What would you like?じゃんけん ・単語の復習をする	・HRTと気分を聞きあ う。 ・児童に、気分や天気 曜日を聞く。 ・What would you like? じゃんけんをさ せる。	・JTEとお互いの気分 を聞きあう。 ・天気、曜日を答える What would you like? じゃんけん ・i-pad を使って、単 語の復習をさせる。	電子黒板 i-pad
	ダン先生			
3. Activity① (20) (前半8分、中間評価4分後半8分)	・児童は班で4つの メニューを考えて2つさいる。2~3人で完成いのせる。2~3人で完成いのせるたった。 サニューを買い物に行く。 ・店、レストラン、話を思い出す。	・ダン先生におすすめ のメニューを完成させようと目標を持たせる。 (単元・本時の流れを知らせる) ・HRTや児童と店やチェンジレストランの会話を行う。 ・時間を図る	・ダン先生の食事の 様子を思い起こさせる(映像)・JTEとデモをする。 店(JTEは客、HRT)は店の人) は店の人) 最初ない時のがないもをする。 『買い物が始めるトラン」の人になる。	*赤黄緑 2 ~ 3 の店が売っ が、何が売っ ているかわ らない。
	<pre> &lt;店員との会話&gt; ① What would you like? ①店の人 ②客 ② I'd like~ ① O.K. Here you are. ② Thank you. ① (You are welcome.)  ・前半に2つの dish を完成させるため る。  ○ Uron の は いっしまでは、 に を で で で で で で で で で で で で で で で で で で</pre>			(評) ・お店やレス ・おうないでの ・カランも ・カランを ・カランを ・カランを ・カランを ・カランを ・カランを ・カランを ・カランを ・カランを ・カランを ・カランを ・カランを ・カランを ・カランを ・カランを かった での をたった をった での をった をった をった での をった をった をった をった をった をった をった をった をった をった
	に、赤黄緑の店に買い物に行く。 ・food がそろった ら、「チェンジレ素材 ら、「チェンジト素材 が合っていたら、 dishカードをも る。 完成したメニューシ	・先生たちにも買か 物に行る。 切りを が前後半切りを でいる の際にいいを り上げる と で の 中間 が が り の り り り り り り り り り り り り り り り り	~~。と言った後 "What would you like?"と聞き"I'd like ○○ "と欲しい dish を言う。材料が合っていたら" O.K. Here you are."と言って、dish カードをわたす。	ロストッケー コミンを楽し んでいる。
	ートは、班のホワイトボードに貼っておく。 後半の活動を行いメニューが完成する。	・他の児童のコミュニケーションの様子 を見せて、意欲を高めさせる。	・レストランでのコ ミュニケーションを 中間評価する。	
4. Activity② (10)	・それぞれが作った おすすめメニューを 紹介する。	"Lunch menu is~~~.と言わせ、 special point も話 させる。 児童の思いをほめ	・班ごとに、メニューを紹介させる際の サポートをする。 ・本時のねらいを振	振り返りカー
5. Greetings (5)	・本時の振り返りを カードに書く Thank you very much. See you.	元量の忘いをはめる。 ・見てくださった先 生方にお礼を言わせ る。See you.	り返させる。 Thank you very much. See you.	F